

みんなで支える森林づくり長野地域会議意見要旨

令和3年12月15日（水）

I 長野県森林づくり県民税の概要について	
質疑・意見内容	回答内容
<ul style="list-style-type: none">森林税事業の大枠の六つの事業の全てが長野地域振興局管内で実施されているのか（渡辺委員）	<ul style="list-style-type: none">実際には実施されているが、局が執行しない予算もある
<ul style="list-style-type: none">森林税事業で上伊那及び南信州が突出して多い理由は何か（和田委員）	<ul style="list-style-type: none">間伐等防災減災にむけた間伐対策が多いためである かなり山奥にも集落があり、里山整備という観点での施業も多い

II 長野県森林づくり県民税活用事業（長野地域振興局分）

質疑・意見内容	回答内容
	<ul style="list-style-type: none"> 松くい虫被害木利活用事業はコロナ対策の交付金に振り替えて実施したため森林税事業としての事業費は0円となっている。
<ul style="list-style-type: none"> 森林税事業からコロナ対策に振り替えた事業はこれだけか？（渡辺委員） 	<ul style="list-style-type: none"> はい
<ul style="list-style-type: none"> 松くい虫被害木利用は里山整備の間伐とは全く違うのか？（渡辺委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 里山整備は、防災減災という事で市町村がライフラインの整備を行っている。 松くい虫は景観や安全面に問題があるところで、燃料向けの低質材を生産する事業に対するものとなっている。
<ul style="list-style-type: none"> 松くい虫対策の事業は沢山行われている様に感じるが？（渡辺委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 森林税事業だけでなく、国庫補助事業等で松くい虫対策の事業があり、そちらでもたくさんやっている。 森林税事業は国庫補助のつかない物を対象としている。
<ul style="list-style-type: none"> 県有施設の木質化に対する評判は如何か？（和田委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 非常に好評をいただいている。 香りや空気感が変わるので良いようだ。 森林税事業の広報にももっと役立てていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 裏に磁石をつけて簡単に表面を木質化できる製品がある（和田委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の事業で一部採用する予定である。
<ul style="list-style-type: none"> 立派な木造建築物を施行するにあたり、施主の強い意向が必要であるが、視察先の案件の場合はどういう経過で実現したのか？（中島委員） （豊野学園の新築校舎を視察） 	<ul style="list-style-type: none"> 施主の学校へは補助事業等について不案内であったが、意向をくんだ工務店が補助金の活用について打診したのが始まり。 公共施設でなくても使える事業なので PR がもっと必要であると感じている。
<ul style="list-style-type: none"> 小さい市町村では比較的实施される事が多いが、大きい市などではなかなか木質化がされない。教育の質を上げるためにも木質化が有効であると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の管理者であるのは教育委員会である。市町村には公共施設の木造化を進める指針を作成してもらっている。 脱炭素も含めウッドチェンジという合言葉で支援もどんどんしていきたい。 地域の材を地域で使う民間施設でもタイミングを合わせる事でもっと活用できるようにしていきたい。

<ul style="list-style-type: none"> 県で色々補助金を工夫しているものがあるが、特定の人だけ使いやすい印象がある。使い勝手がもう少しよくなるといいと感じている。 国の施策は随分変わってきていて、防火建築を含めて木質化するよう法律も改正されるので、行政側が発注する時にもっと木質化を強く求めれば、山も活性化するのではないか。(相野委員) 	
<ul style="list-style-type: none"> 松代小学校の建て替えの時は、住民自治協議会を巻き込んで、校舎の木質化を進めた。(和田委員) 	
<ul style="list-style-type: none"> 市の施設を建て替えるにあたり、地域材を使用した事例があるが、入手できないためにとん挫したことがある。 使用する側だけでなく、供給する側もふくめた両方一緒に動かさないと結局出てこないの使えない。(相野委員) 	
<ul style="list-style-type: none"> 長野は製材工場が少ないという事だが(渡辺委員) 	<ul style="list-style-type: none"> はい
<ul style="list-style-type: none"> 昔は小さな製材工場が地域に沢山あったが、これを維持するような仕組みが途絶えてしまっている。10年来論議があるが、進展がない様を感じる。(中島委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 現状を認識しており、課題としている。 意見として施策に反映できるようにしていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 時間がかかる事は承知している。(中島委員) 	
<ul style="list-style-type: none"> ライフラインの保全対策について、市町村によって対応に差がある。要望しても対応してもらえない事がある。(宮沢委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ライフラインに関しては市町村の考え方が強く出てしまうため、対応に差が出る事は考えられる。
<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣に関して環境保全研究所との連携はとられているのか(込山委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 支援チームとして連携やバックアップをしてもらっている。
<ul style="list-style-type: none"> 県の実証事業でシカの捕獲を行っている(和田委員) 	<ul style="list-style-type: none">
<ul style="list-style-type: none"> 法人会として広報等に手伝えることがあると感じた。また、用途についても当然手伝えることがある(伊藤委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 制度を知って有効活用していただくためにも、ご協力ご相談させていただきたい。

Ⅲ意見交換

質疑・意見内容	回答内容
・ 木質ベンチへ焼き印とかで、税や材の PR をしてはどうか（相野委員）	
・ 環境カレッジ等でも、周知をして理解を深めるきっかけを作る事ができるのではないか？（相野委員）	
・ まずは隗より始めよ。県の建物は全部木で作る、とする事が一番早くて確かで宣伝になる。（渡辺委員）	

Ⅳその他

質疑・意見内容	回答内容
・ 環境教育の中で、海ゴミ脱プラという取り組みがある。木を使うのはまさに脱プラにあたる。（渡辺委員）	・ 木質化へのいいチャンスだと思っている。
・ 他県では県として学校のいすや机を木質化したところもある。市町村であればかなりある。（渡辺委員）	